



富田林寺内町
重要伝統的建造物群保存地区
拡大選定記念事業

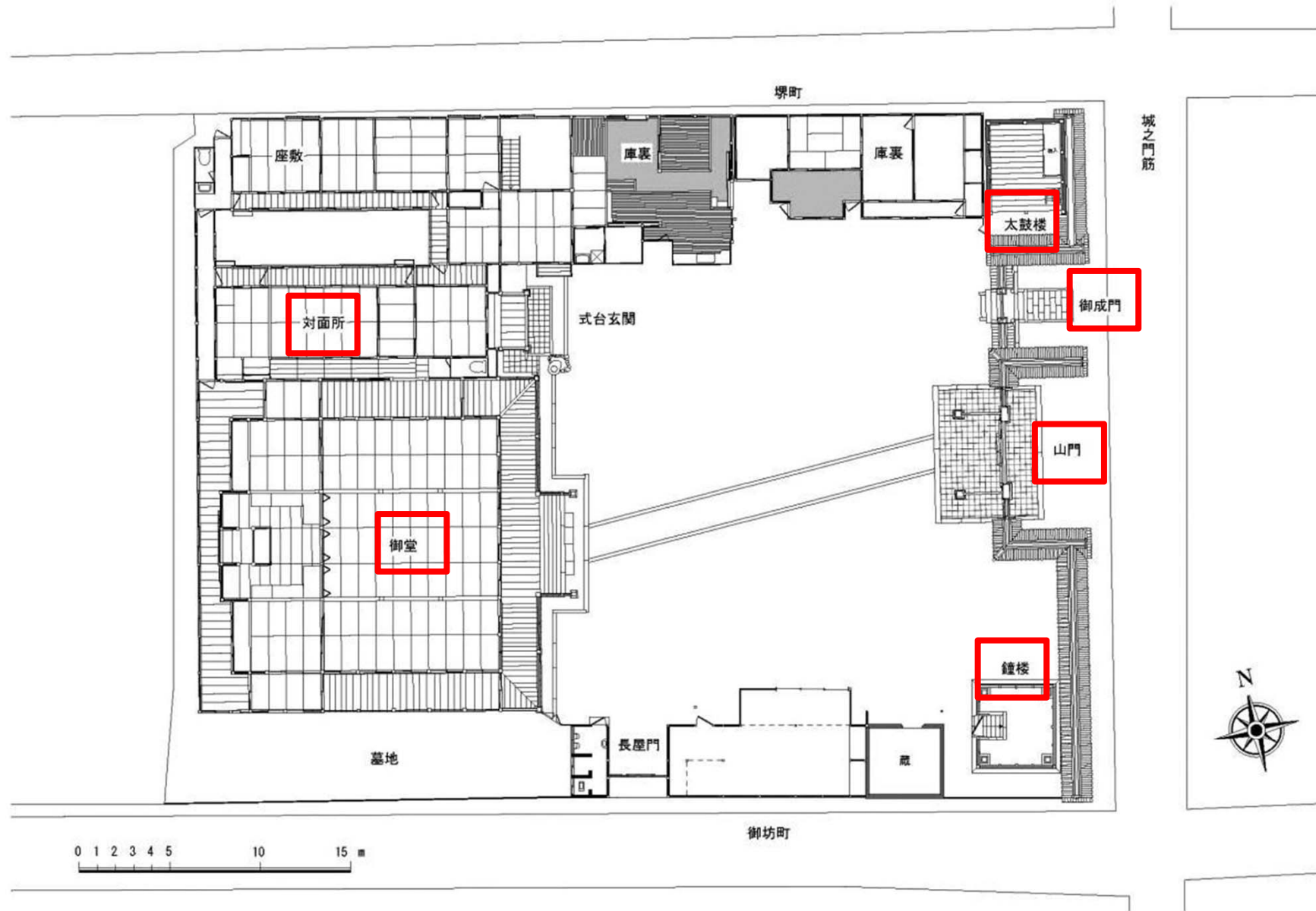
* 富田林寺内町地区の歴史的沿革

室町時代末期の永禄年間（1559年頃）に京都興正寺第16世の証秀上人が建立した**興正寺掛所（現在の興正寺別院）**を中心とする**宗教自治都市**として誕生。





興正寺別院



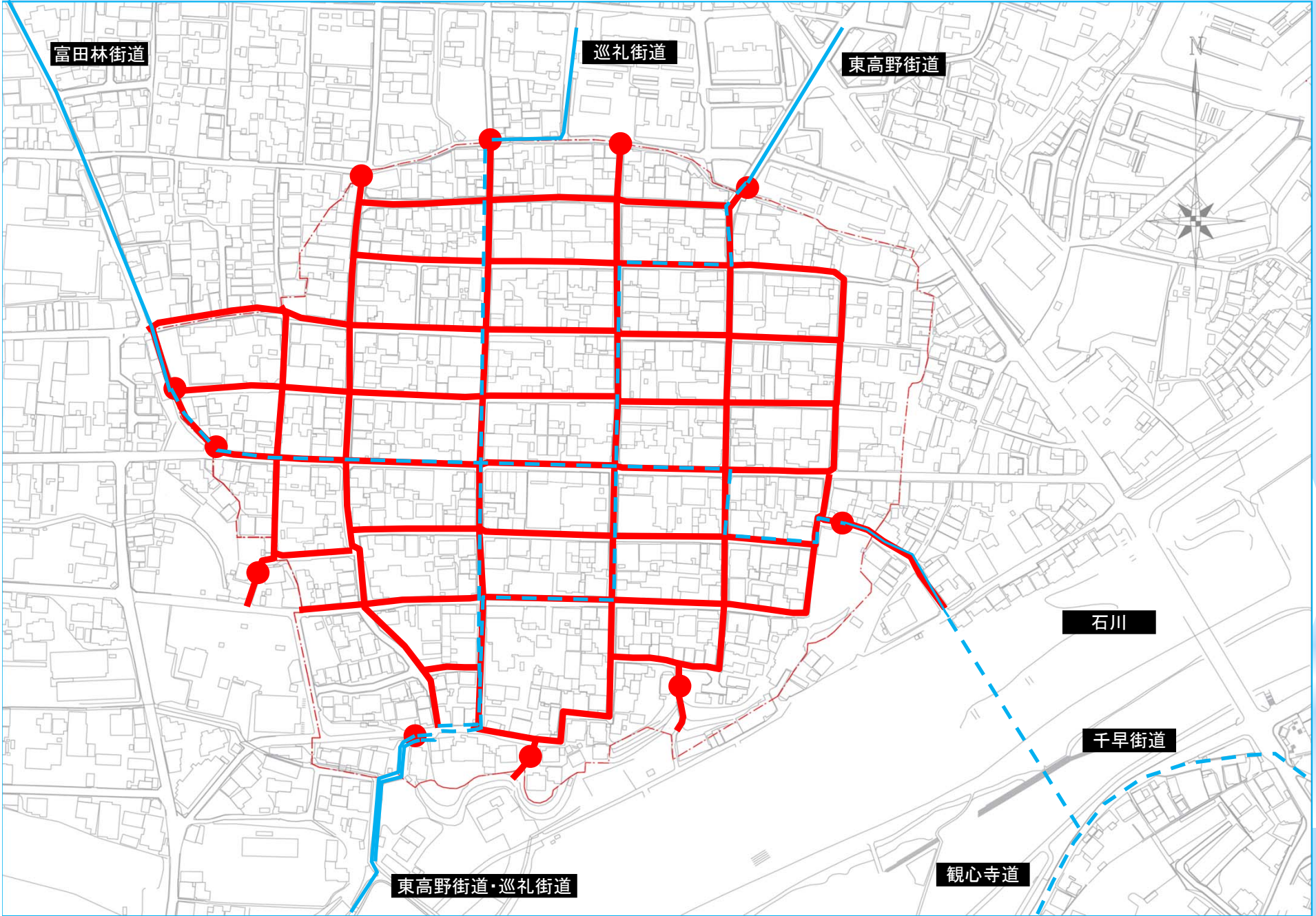
興正寺別院伽藍配置図

* 富田林寺内町地区の歴史的沿革



江戸時代に入ると、幕藩体制の中で宗教色は次第に薄れ、周辺地域の農作物の集散と商業活動による**在郷町**として発展。

〔寛文8年（1688）の記録では、樽や布など酒造や木綿に関する商いが盛んで、51種類、149の店舗が軒を並べていた。〕



* 富田林寺内町地区の歴史的沿革

その後、明治時代に入り、公共施設が置かれる**南河内の中核**であったが、鉄道や道路の整備にともなって、車の普及も影響し、銀行や商店も駅前や大通りに面した広い土地へと移っていきました。



近代の公共建築

南河内の中心地

学校	郷学校	明治5年～6年	興正寺別院・妙慶寺
	小学校	明治6年	別院にて小学校仮設置
	小学校	明治8年	南会所町(224番地)に小学校舎建設移転 ～大正11年まで(現越井)
郵便局		明治4年～昭和24年	(別院の北側:堺町)
電報電話局		明治27年～昭和6年3月まで	(郵便局で)
郡役所	仮庁舎	明治16年～18年	(現別院)
	本庁舎	明治18年～昭和12年	(現和田家)
税務署		明治22年3月～昭和6年	(現展望広場)
警察		明治18年～45年2月まで	(現井坂家・田中家蔵・木口家蔵・木村電気店の一部))
町役場		明治～	(現仲村家)
		大正	(現保育園)
専売公社			(現交流館・みんなの広場)
女学校			浄谷寺南側

* 富田林寺内町地区の歴史的沿革



こうして、ひにくにも開発の影響を受けなかったことが幸いして歴史的な町並みが残された結果、全国的にも例のない良好な町並みが評価され、平成9年(1997年)10月31日に

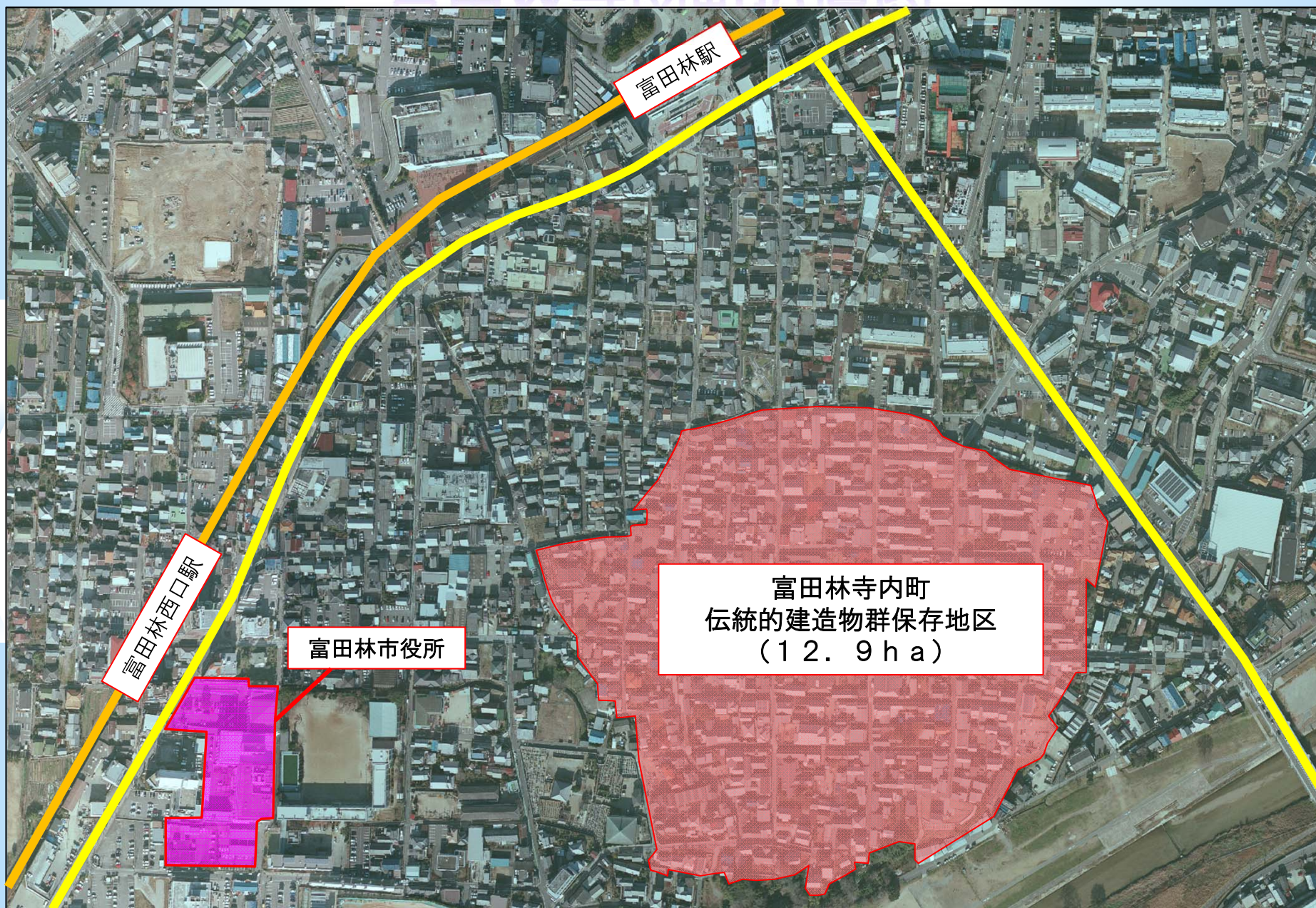
国の重要伝統的建造物群保存地区に選定。

重要伝統的建造物群保存地区とは

伝統的建造物群保存地区（伝建地区）とは、歴史的な町並みの保存を図るために市町村が指定するもので、その中でも文部科学大臣が特に高いものを重要伝統的建造物群保存地区として選定することとされている。2018年（平成30年）8月現在、日本全国で43道府県98市町村の118地区が選定されている。



富田林寺内町位置図



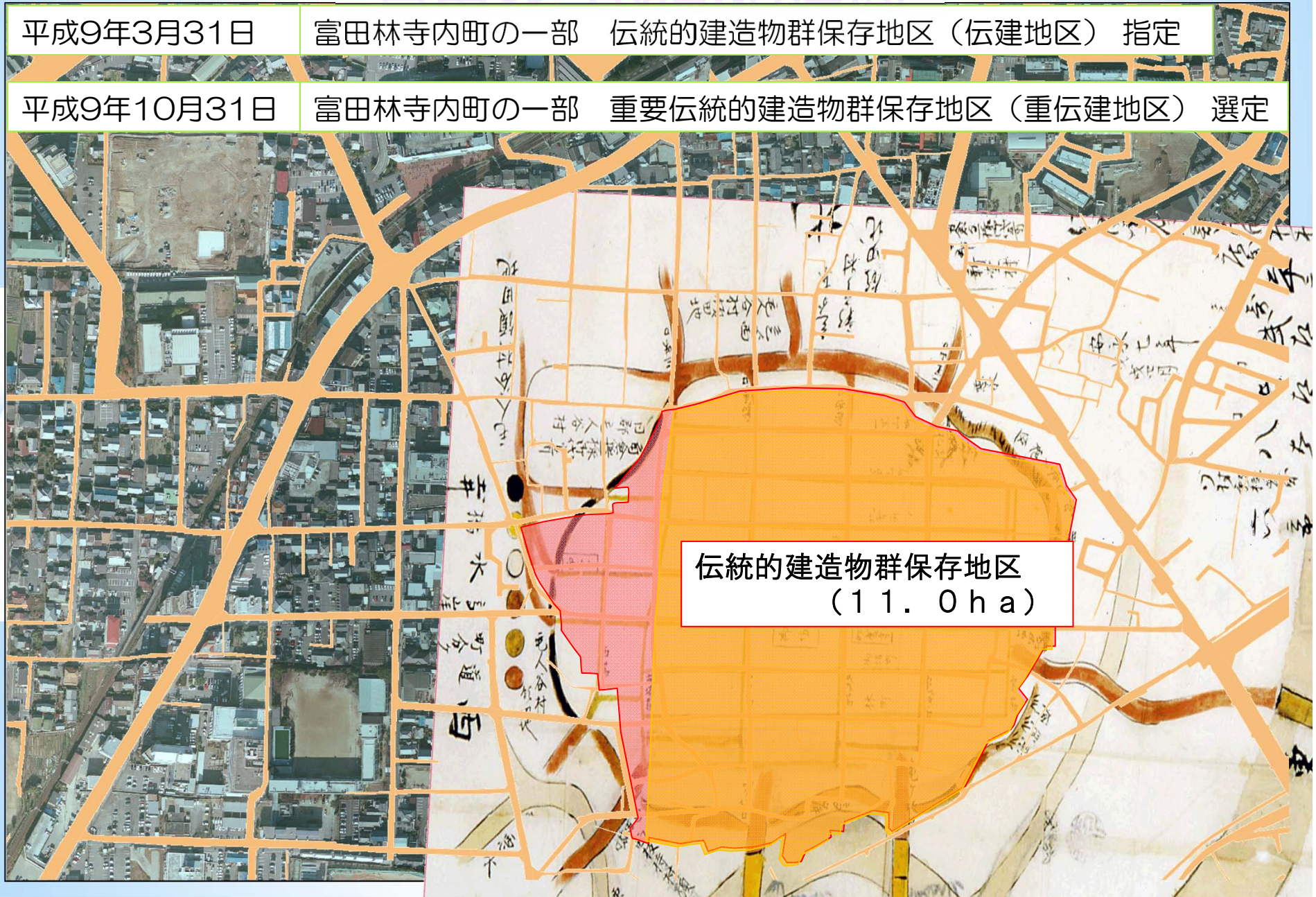
富田林寺内町位置図

平成9年3月31日

富田林寺内町の一部 伝統的建造物群保存地区（伝建地区）指定

平成9年10月31日

富田林寺内町の一部 重要伝統的建造物群保存地区（重伝建地区）選定



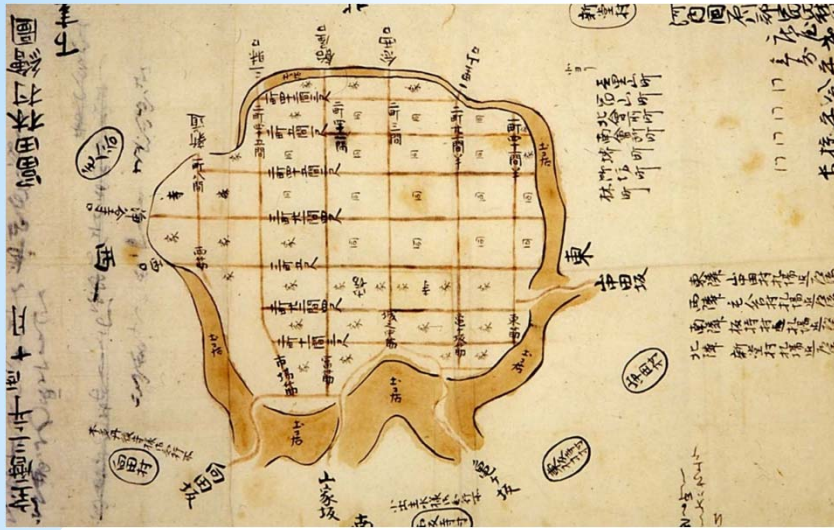
伝統的建造物群保存地区
(11.0ha)

富田林寺内町位置図

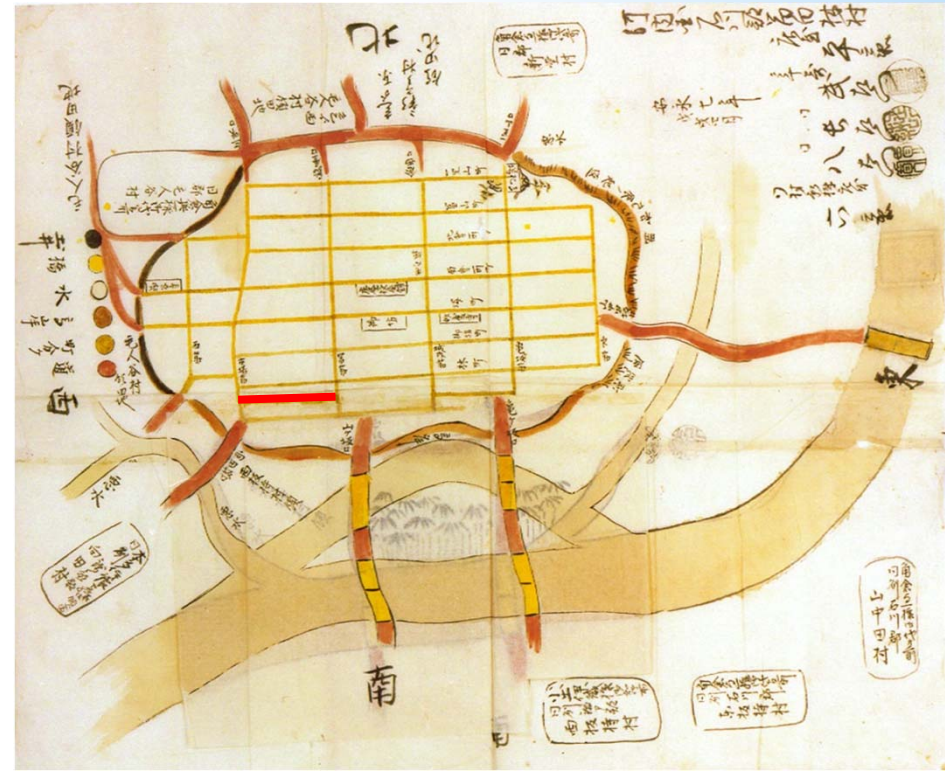


富田林寺内町の地区境界について

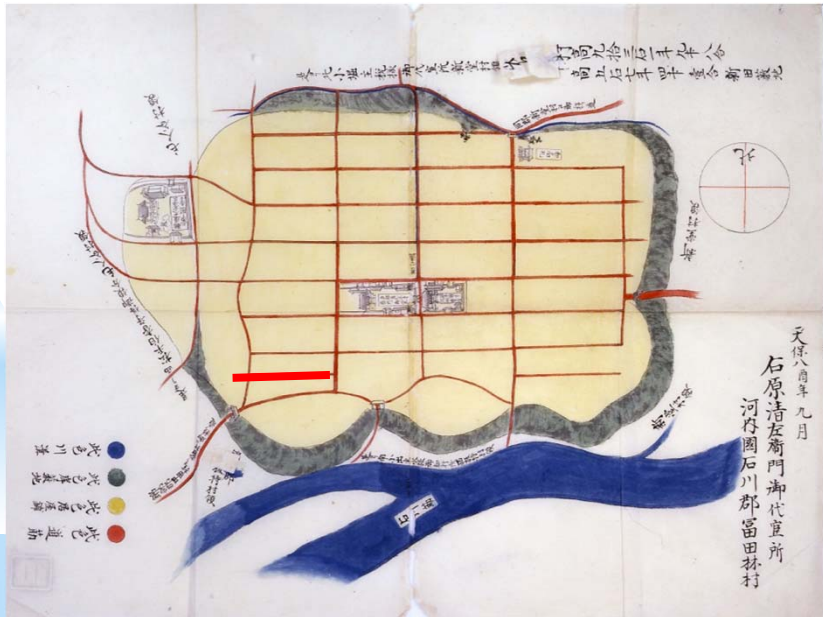
地区境界設定については、宝暦3年や安永7年などの古絵図や明治19年の地番図をもとに旧富田林村の境界を保存地区としております。



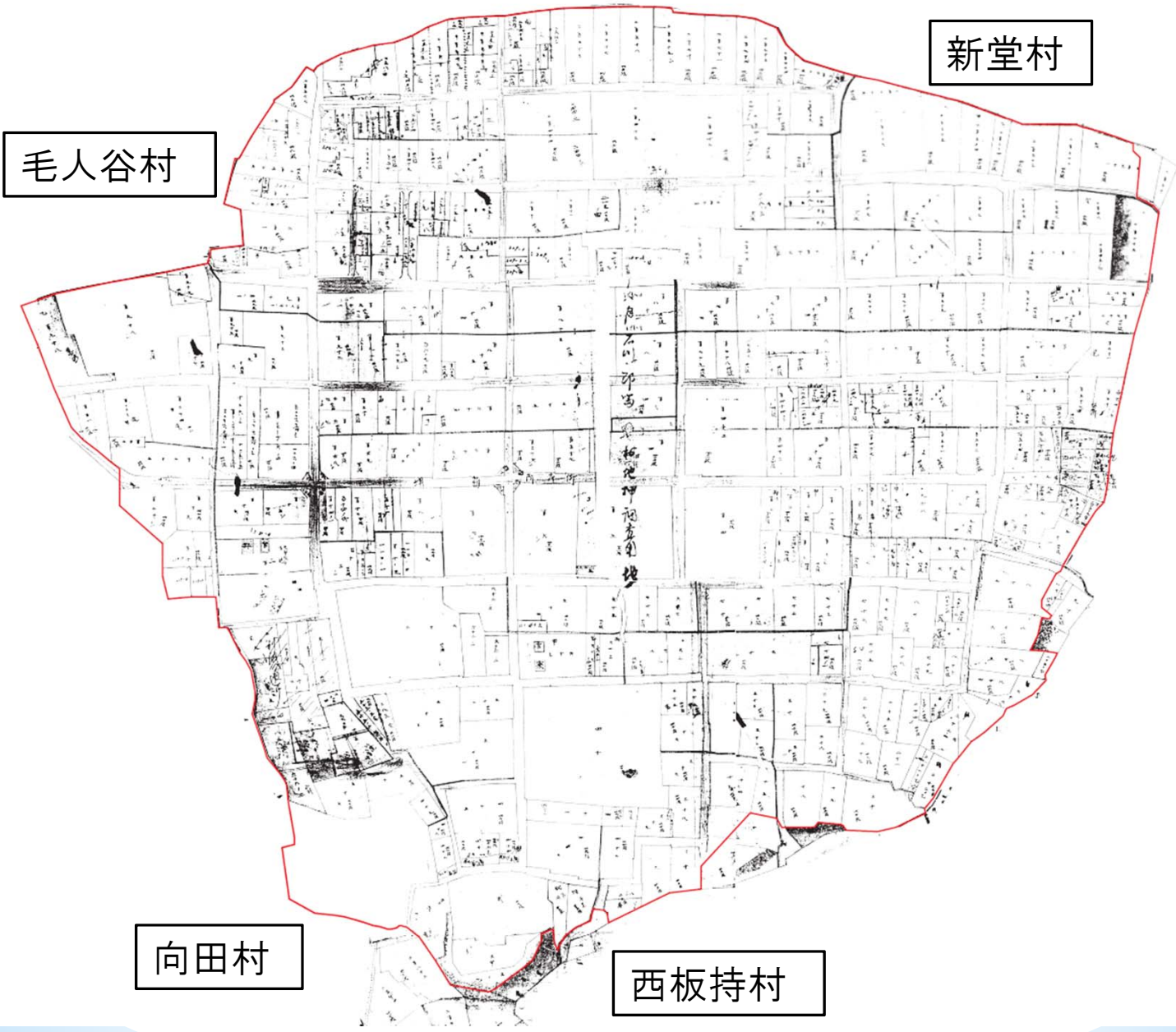
宝曆3年 (1753年)



安永7年 (1778年)



天保8年 (1837年)



明治19年(1886) 地番図



地区拡大の3つポイント

- ① 寺内町の町・筋を網羅
- ② 寺内町の出入口を網羅
- ③ 寺内町の寺院を網羅

富田林街道

巡礼街道

東高野街道

飴屋口

念西口

三味口

一里山口

一里山口

浄谷寺口

浄谷寺

西口

西筋

市場筋

富筋

北会所町

南会所町

興正寺別院

御坊町

林町

山家坂

城之門

塚町

妙慶寺

亀ヶ坂筋

亀ヶ坂

東筋

山中田坂

名称不明

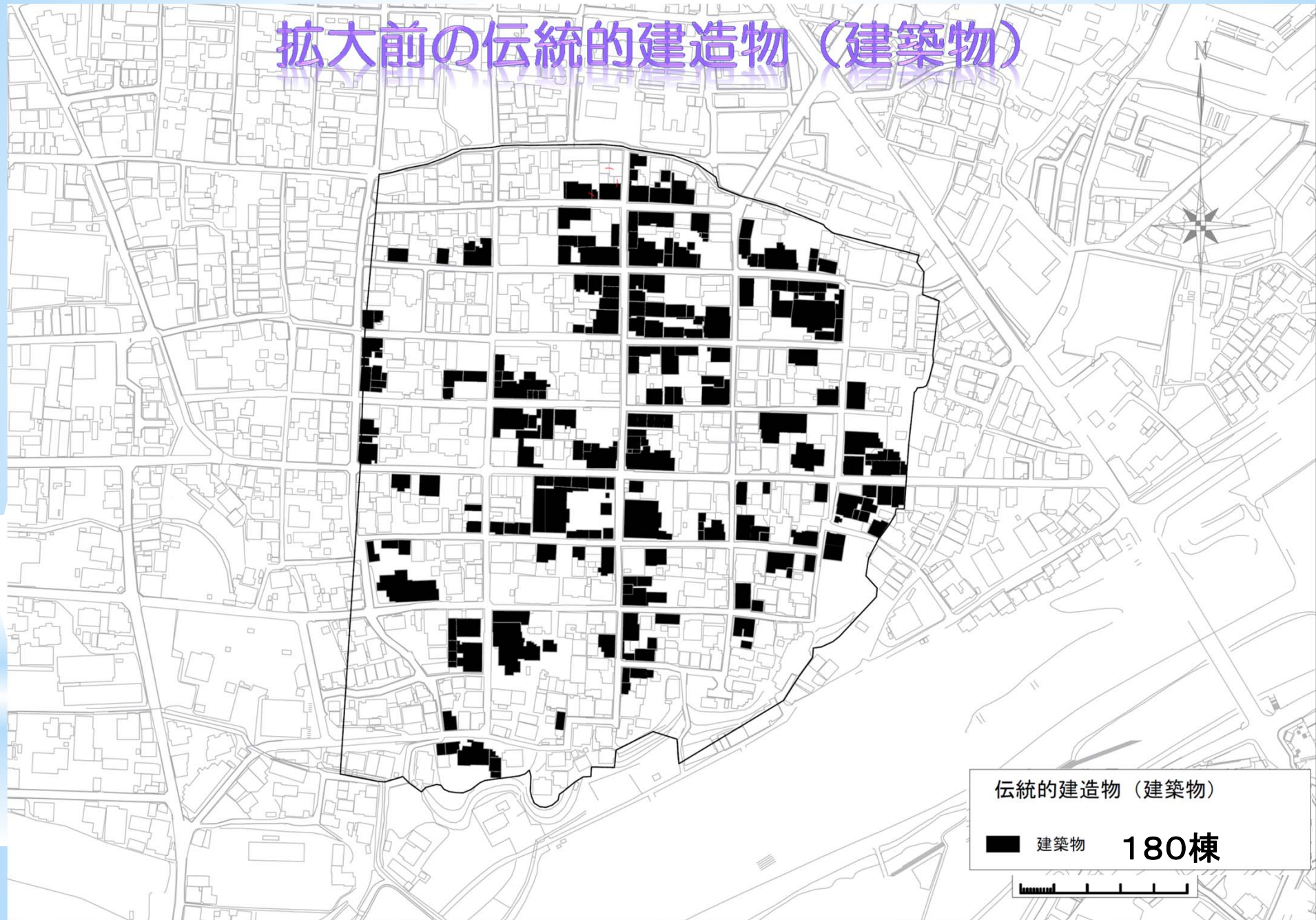
向田坂

東高野街道・巡礼街道

千早街道

観心寺道

拡大前の伝統的建造物（建築物）



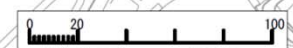
伝統的建造物（建築物）
■ 建築物 180棟



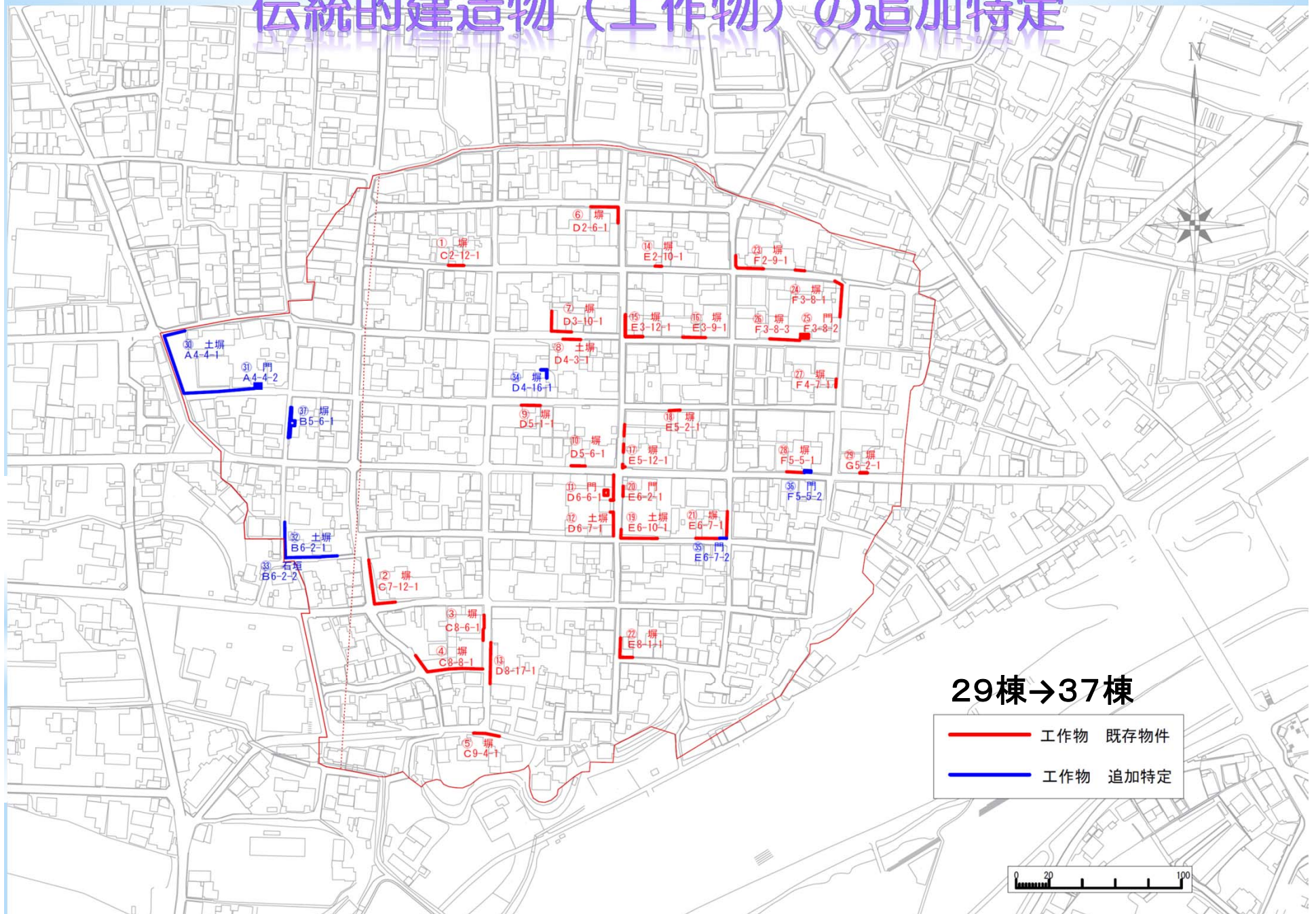
拡大後の伝統的建造物（建築物）



伝統的建造物（建築物）
■ 建築物 220棟

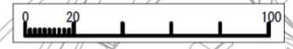


伝統的建造物（工作物）の追加特定



29棟→37棟

— 工作物 既存物件
— 工作物 追加特定



富田林寺内町の今後について

重要文化財である興正寺別院の修理事業や大型町家の利活用など数多くの課題もありますが、江戸時代からまもり・そだててきた「富田林寺内町」を粹に感じながら、地元住民の方と行政、各種団体が一体となり、その時代に合わせた富田林独自のまちづくりに挑戦し続けていきます。

富田林寺内町の今後について

「旧寺内町全域を重伝建地区に！」

長年の念願が叶った今、富田林寺内町の更なる飛躍を目指して、まちづくりの新たな時代の幕開けとなることを確信しています！

ご清聴ありがとうございました！